

# F<sub>1</sub>オーナメンタルミレット(3品種) パープル マジェスティ・ジェスター・パープルバロン

## 花壇のボーダーから寄せ植えの芯材まで、 目につきやすく印象的な観葉タイプのミレット

- 近年人気のある観葉グラスのひとつ、ミレットを3品種お届けします。ガーデンや大鉢へ定植するととてもよく映える個性的な3品種です。パープルマジェスティは、花壇定植で1.2から1.5mに達し、穂は羽毛様の手ざわりで、30から35cmの長さです。またジェスターとパープルバロンは、それぞれマジェスティの4分の3と3分の2ほどの高さです
- 栽培条件がしっかり整っていれば、株は主茎が最多で3本くらい、そして数本の側枝が地際から上がってきます。3品種のうちジェスターの分枝が最もよく、それからパープルマジェスティ、パープルバロンと続きます
- これらF<sub>1</sub>の3品種は、10cmていどのポットから大鉢まで、仕立て方の自由度が高い品種です
- パープルマジェスティは、2003年のAAS(オール・アメリカ・セレクション)金賞受賞品種です

本品種の学名: *Pennisetum glaucum*  
種子粒数: 120 から 160 粒/グラム

### プラグ生産ステージ

#### 培地

ピート主体の水はけのよい、新しく衛生的な培地を用います。土壌 pH は 5.5-6.2、EC 値\*を 0.75mmhos/cm(1:2)

#### 播種(トレイ播種)

128 穴かそれよりも大きなサイズのトレイを用います。大きなサイズを用いた方が栽培期間は短くなります。2,3 粒を使って多粒播きをすると、株張りがよくなり、店頭での訴求効果を出しやすくなるでしょう

#### 播種(直播き)

出荷コンテナに直に播くと栽培期間を最大 2 週縮めることが可能です。出荷コンテナの中央に 3 粒(ないしそれ以上)を播くようにします

上記いずれの播種方法を用いるにせよ、種子の跳ねの防止のためにも約 1cm 厚みで覆土します

#### 温度

発芽: 22 から 25°C  
ステージ 2 から 3: 20 から 22°C  
プラグステージ後期: 16 から 18°C  
発芽温度が適切であればだいたい 2,3 日で発芽します。温度が 20°C を下回ると発芽は極端に遅れます

#### 光条件

電照等による補光は不要です

#### 湿度

培地が乾燥しないように維持します。培地の湿度が適切に維持できれば、発芽室などの特別な管理をしなくても直接ベンチ上で発芽させることも問題はありません

#### 培地の水分

幼根が発生するまでは培地の水分は高めに維持します。幼根が培地に張り出し始めたら水分レベルを下げます。このとき乾かしすぎて苗を枯らせないように注意します

#### 肥料

幼根が現れてから、15-0-15 の肥料を 50 から 75ppm(N)で与えます。本葉が展開してきたら濃度を 100 から 150ppm(N)くらいに上げます

#### 矮化処理剤

次の「ポット上げから出荷まで」の「矮化処理剤」の項を参照

### ポット上げから出荷まで

#### 用土(培地)

ピート主体の水はけのよい、新しく衛生的な用土を用います。pH は 5.5 から 6.2、用土の初期養分は中庸とする

#### 温度

昼間温度: 20 から 30°C  
夜間温度: 18 から 19°C

ミレットは暖かい生育環境を好む作物なので、温度が高い方が生育も早く、また丈も高くなります。生育時の平均温度が 18°C を下回ると株の生長が極端に遅れ、さらに 16°C を下回ると生長が止まるので注意が必要です

#### 光条件

照度はできるだけ高くします。照度が高ければ高いほど堅固で厚みのある茎としっかりした地際分枝が確立されます。苗の段階では株は緑色ですが、本葉が 8 枚ほど現れる頃から、茎と葉の中央部分がまず紫色に変わり始めます。下部をハウスから出して、日あたりのよい場所へ移動すると葉色が色づき始めます(ジェスターは紫色にはなりません)  
NOTE: 苗売りをする場合、苗が緑色の段階で特徴が十分に発揮される前に店頭で置かれる可能性があるため、その時は写真付ラベルを添えた販売を推奨します。ラベルには、定植後に色が変わってくるといった特徴を詳しく説明し、消費者への理解を促すことが必要でしょう

#### かん水

水分が全体に浸み渡るようかん水し、苗を枯らせないように注意します

## 肥料

週に一度、各栄養素を含んだ汎用タイプの肥料を 150 から 200ppm(N)与えます

## 矮化处理剤

### ◆造園等に用いる場合

- ・ボンザイを早い時期に与えると、草丈に大きな影響を与えることなく、株はよりブッシュとなって、側枝も旺盛に上がってきます
- ・出荷コンテナに直播きする場合は、播種後 4 週でボンザイを 6 から 8ppm かん注します。プラグからの移植の場合は、移植後 1 週してからボンザイを 3 から 5ppm かん注します

### ◆最適な処理

- ・フローレル 1,500ppm の 2 回の葉面散布が最も適しています。移植後一週、ないし播種後 4 週で最初の処理を行います。その 10 日ないし 2 週後に 2 回目の処理を行います。フローレルによる処理は、株をよりブッシュにして、側枝を旺盛にする効果もあります。しかし、フローレルにはボンザイほど草丈を抑える効果はありません

### ◆寄せ植えに用いる場合

- ・出荷コンテナに直播きする場合は、ボンザイの 6 から 9ppm を 2 回かん注するのが有効です。初回は播種後 4 週、10 日後に 2 回目を行います
- ・プラグトレイに播種する場合は、出荷コンテナに移植後 1 週で 6 から 8ppm のボンザイをかん注します。この 1 回で十分な効果があるでしょう
- ・この処理を行うと、花穂が開く頃の草丈はコンテナの中央からの高さで見ると、**パープルマジェスティ**が 60 から 75cm、**ジュスター**と**パープルパロン**は 55 から 65cm くらいです

**NOTE:** 社内トライアル(合衆国イリノイ州)では、プラグトレイから移植された株の方が、矮化剤処理の後よりブッシュとなり、矮化剤の最終的な使用量が少ないことが確認されています。ただし、生長は直播きよりも 1、2 週遅れます

ミレットの矮化剤への反応は、コンテナサイズや栽培環境の違いによって異なってきます。そのため、ハウスの条件を見ながら矮化剤の最適値や供与方法を決めるための予備試験を行うことを推奨しています

## ピンチ

ピンチは不要です

## 管理上の留意点

水切れや肥料不足による生育不良が起きないように、また根詰まりを起こさないように十分な注意が必要です。若い苗の段階で生育不良を起こすと、株の側枝が上がってこないばかりか、丈も短く、作物の本来の能力を十分発揮できずに育ってしまいます

# PanAmerican Seed

PanAmSeed.com

®および®は、Ball Horticultural Company のアメリカ合衆国、またその他国における登録商標です。

## 栽培のスケジュール

播種から移植まで(288 トレイ使用): 2 から 3 週

鉢/コンテナのサイズ	移植数の目安	移植から出荷までの期間
10 から 11cm の鉢/コンテナ	1-2*	4 から 5 週 (花穂なし)
20cm 前後の鉢/コンテナ	3*	5 から 6 週 (花穂なし)
20cm 前後の鉢/コンテナ	3*	11 から 13 週 (花穂つき)**

\*: プラグで多粒播きする場合は、必要とされる本数を播種し、1 本のプラグを移植します。1 粒播きでは、目安本数のプラグをポットの中央に寄せて移植します

\*\* : 花穂つきで出荷する場合は、左記の「矮化处理剤」の項にもあるように、矮化剤を用いることで生産を短縮することも可能です

- ◆ 上記の栽培期間は、平均温度 20℃ の条件にもとづいています。温度の高い条件で栽培すると、栽培期間は 2 週、あるいはそれ以上短くなります

- ◆ 上記の「花穂なし」で販売する場合は、根がよく回っていて株がしっかりとポットから抜ける状態で、丈が 30 から 40cm くらいを一応の目安とします。過度に根詰まりをさせたり、それによって株がで上がる前に開花したりすると、花壇定植後も丈が伸びずにバランスの悪い草姿となるので注意しましょう

## ◆直播き

出荷コンテナへ直播きすると、最大で 2 週栽培期間を縮めることが可能です。直播きでは、コンテナの中央の最も適した位置で容易に発芽します。適正な温度や培地の水分などの詳細は上記の「プラグ生産のステージ」を参照しましょう。また 3 品種のうち**ジュスター**は、温度が低いと生育や定植後の草姿に最も影響が現れやすい品種なので選定時に注意しましょう

## 予想される病気や害虫

害虫: アブラムシ

病気: 特別な注意を必要とする病気の報告はありません

## 花壇等での特性と手入れ

- 日あたりのよい場所へ植えつけると、濃く美しい葉色になります(パープルマジェスティの場合は濃い紫色に)
- 株間を 25 から 30cm くらい取りましょう
- 株が過度な根詰まりになる前に花壇等へ定植しましょう。根詰まりをおこした株は、おこさなかった株に比べて草丈が短くなって、バランスもよくない結果になります

EC 値(電気伝導度)は、ピート主体の北米の用土を算出の基準としているので、土を用いた配合では適し得ない場合があります。

PanAmerican Seed Co.  
622 Town Road  
West Chicago, Illinois USA 60185-2698  
630 231-1400  
Fax: 630 231-3609

PanAmerican Seed Europe BV  
Lavendelweg 10  
NL-1435 EW Rijsenhout, Holland  
+31 (0)297-383038  
Fax: +31 (0)297-383036

2005 年 9 月改定

©2004 Ball Horticultural Company Printed in USA PAS04165 10/04  
Originally issued as PAS04265 in USA, and under permission translated into Japanese in 2005. Printed in Japan